

1. 件名：廃スラッジ回収施設の閉じ込め対策等に係る面談
2. 日時：令和4年5月19日（木）13時30分～14時45分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
新井安全審査官、塩唐松係員、高木技術参与  
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 担当6名

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、現在、設計の見直しを進めている廃スラッジ回収施設（以下「本施設」という。）に関し、資料に基づき以下の説明があった。
  - ✓ 本施設で用いるフィルタの性能決定に当たって、各機器・設備等で取り扱う放射性物質が気中へ移行する量を算定する必要があるが、遠心分離機については、気中移行に関する情報が既存文献のみでは揃わないため、簡易試験装置を用いた試験により気中移行率を設定する必要があること。
  - ✓ ダスト対策の進捗の遅れによる影響から、各機器の配置設計や耐震性評価が遅れており、補正提出時期が従来予定から6ヶ月ほど遅れる予定であること。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメントを行った。
  - ✓ ダストの発生する恐れのある全ての箇所について気中への移行率の考え方を説明するとともに、換気空調系の全体像について系統図や配置図等を用い説明すること。
  - ✓ 本施設の設計及び調達に係る品質管理について説明すること。特に、海外から導入する予定のマニピュレータ等については、製造・設置工事における試験・検査項目など、品質管理の内容を詳細に説明すること。

## 6. その他

資料：廃スラッジ回収施設の設置に関わる補足説明資料